

					<p>④地域移行をした際、月会費を徴収するのであれば、その方法と会費の管理は誰が行うのか。</p> <p>⑤部活動地域移行の受皿となる「志免スポーツクラブ」などを設立してはどうか。</p>		
3	丸山真智子	30分	<p>1. 子どもの権利条例について</p> <p>2. 高齢者に対する施策について</p> <p>3. 子どもたちの安全を守る「見守り隊」の安全について</p>	<p>(1) 志免町が誇る「子どもの権利条例」が2006年12月に成立、2007年度から施行され15年以上経過。改めて、その価値、効果を問う。</p> <p>(1) 加齢による難聴に対して、「補聴器」購入に補助する自治体が増えている。志免町でも出来ないのか。</p> <p>(1) 子どもたちの登下校等の見守りを行っている「見守り隊」の事故時の保険はどうなっているのか。</p>	<p>①九州で初めて制定された「志免町子どもの権利条例」について15年以上が経過したが、町長としてどのように評価してあるのか。</p> <p>②議会の全員協議会で、10月に開催された「第19回 マニフェスト大賞」の発表があり、政策・まちづくり部門で優秀賞を受賞したとの報告があった。応募内容についてなど資料はあったが、この機会に詳しい経過等を共有させていただきたい。</p> <p>③「子どもの権利相談室」と町長は意見交換等されたことがあるのか。あれば内容は。そして課題等はあるのか。</p> <p>④条例の特徴である子どもの居場所「リリーフ」。建物が老朽化する中、運営するスタッフは大変さもあると思うが頑張っており、感謝したい。「リリーフ」の今後と、「リリーフ2」が必要と思うが考えは。</p> <p>①高齢者の声を聞くと、「物価高に見合うだけの年金は上がらない、医療費などの負担は増え、社会を支えてきた自分たちに厳しい」といった意見が多いと感じる。町として独自の支援策があってもいいのでは（同僚議員からの質問もあっている）と考える。町としての考えは。</p> <p>②その他の支援策として、補聴器への補助が考えられないのか。</p> <p>①現在、子どもたちの登下校の見守りを通学保護員や民生児童委員、シニアクラブ、町内会役員、PTA等が行っている。現状は把握されているのか。</p> <p>②通学保護員以外は善意のボランティア。もし事故等に遭った場合が心配、保険等が適用されるのか。また、見守り隊の保険をどう考えてあるのか。</p>	町 長 教 育 長	町 長 教 育 長
4	稲永隆義	30分	<p>1. 総合計画基本目標2の施策5-1子ども医療費助成事業について</p>	<p>(1) 助成範囲を高校生まで拡大を</p>	<p>アトピー性皮膚炎の治療薬を処方してもらっているが、息子が高校生になった途端高額な薬代がかかり困っているとの訴えがあった。</p> <p>①町単独で高校生までの医療費助成が必要と思うが検討状況と方針を伺う。</p> <p>②福岡県60市町村の中で、高校生への医療費助成を行っている市町村は28、粕屋1市7町では古賀市と新宮町。県と糟屋郡の高校生への医療費助成への動きを伺う。</p> <p>③子ども医療助成を町単独で高校生にまで拡大した場合、その費用はどのくらいと推</p>	町 長	

4	稲永隆義	30分	2. 総合計画基本目標4の施策13-12国民保護推進事業について	(1) アンテナを高くして国民保護推進事業の推進を	定されるか。 ④令和5年度の事務事業評価表には、現在は、助成範囲を高校生まで拡大した市町があり、町民から助成範囲拡大の要望も上がっていると書いてある。段階的であっても良いので高校生への医療費助成を急ぐべきと考えるが、町長の考えを伺う。 台湾有事等の武力攻撃事態に備えての国民保護計画の改定やシェルター建設等について、沖縄県の石垣市と宮古島市を個人視察させて頂いた。石垣市の人口は5万人程、宮古島市の人口は5万5千人程で両市とも住民の全島避難とシェルター建設の計画を策定中だった。避難先は九州、山口各県が想定されている。 ①避難者の受け入れについての県からの話があるか伺う。 ②志免町は福岡空港に近いので、要支援者の受け入れに貢献できると思うが、想定について伺う。 ③沖縄県では県が主体となって令和8年度に国民保護訓練が予定されている。緊密な連携を。町長の考えを伺う。	町長
			3. 志免町の新型コロナ対応記録について	(1) 進捗状況の確認	昨年9月定例会での志免町の新型コロナ対応を記録として残すべきではないかとの私の質問に対し、内閣府からも通達がある、町長、教育長ともに記録として残す必要があると熱く語られた。 ①所管課はどこか、進捗状況、完成予定時期を伺う。	町長
5	安河内祐子	20分	1. 第6次志免町総合計画に添い、高齢者と障がい者の福祉の充実に対する取り組みを、具体的に問う。	(1) 重点目標9-2高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する (2) 障がい者が地域で自立した生活ができるよう支援する	①高齢者の地域活動参加や、交流の場となる居場所づくりの取り組みを問う。 ②シニアクラブの現況と、行政の支援について。 ③シルバー人材センターの現況と課題への取り組み、加入促進への事業活動支援について。 ①障がいのある方一人一人の状況に応じた包括的支援や、相談体制は出来ているか？ ②障がい者支援における地域との連携と課題、また困難事例への対応方法は？ ③障がい者の就労支援対策と、社会参加促進について。 ④講演会やイベントへの参加推進対策は？	町長
			2. 小中学校における、高齢者、障がい者支援教育について	(1) 小中学校で高齢者、障がい者の方々への理解や、支援についての教育は大切	①小中学生が地域の高齢の方々やと接する機会などはあるか？ ②理解や支援に対し、具体的に機会はあるか？	町長 教育長
6	牟田口武史	20分	1. 義務教育である小・中学校の現状と未来	(1) 教育に対する町の費用負担	①15歳以下の人口は。また、小中学校の児童・生徒数は。 ②全人口に対する15歳以下の人口の割合	町長 教育長

				(2) 教育現場の現状と未来	<p>は。</p> <p>③教科書及び教材費の負担は。</p> <p>④小・中学校の職員（正規・非正規）の給料は県と町のどちらが負担しているのか。</p> <p>⑤昨年度の小・中学校の運営における町の負担は。</p> <p>①学校とPTAの関係。</p> <p>②コミュニティ・スクールと学校・保護者・地域のつながり。</p> <p>③私立小・中学校への進学状況。</p> <p>④小・中学校の教育現場の問題点は町としてどうとらえているのか（問題はないと考えているのか）。</p>		
7	稲永義美	30分	<p>1. 第6次志免町総合計画・基本構想Ⅲ/基本目標1「ひとづくりと地域づくりについて」現状を問う</p> <p>*議員と語る会 5月11日 まちの賑わいの創出について 11月22日 志免町を未来へ継承するために担い手・成り手不足について 会での意見を受け</p>	<p>(1) スポーツ大会・文化祭の開催状況について</p> <p>(2) スポーツ大会・文化祭への人・物・補助金の支援について</p> <p>(3) 他、団体への補助金・費用弁償等の増額について</p> <p>(4) まちに賑わい・活気をもたらすスポーツ大会・文化祭等の開催について（賑わいの創出について）</p>	<p>①10月13日「スポーツフェスタ2024」について。 午前の部の 来場者数は (ミニミニ運動会) 参加者数は 参加チーム数は 午後の部の 参加者数は (モルック) 参加チーム数は</p> <p>②町長のご感想は。</p> <p>③同日開催「つながろう志免」の来場者数は。 会場：シーメイト、鉄道公園</p> <p>④町長のご感想は。</p> <p>⑤11月2・3日開催の「志免町文化祭」の来場者数は。</p> <p>⑥町長のご感想は。</p> <p>【人集め】 ①町内会や関連団体の協力は必要不可欠だと思うが、町の考え・対応策は</p> <p>【物集め】 (出店者や企画・キッチンカー等) ②商工会や他団体の協力は必要不可欠だと思うが、町の考え・対応策は</p> <p>【補助金の支援】 について ③物価高騰のおり、今までの補助金では運営がままならない現状があるようです。各団体や大会・文化祭へ補助金増額は必要と思うが、町長のお考えは</p> <p>①町内会役員、PTA役員、消防団等々への補助金・費用弁償等、増額の考えは</p> <p>①町主催行事の際は、「のるーと志免」を運行するべきでは ②まちに賑わい・活気をもたらす催しについて、行政側が強いリーダーシップを発揮し行っていく事が必要と考えますが、町長は、どのように向かい合い・取り組んでいくお考えか</p>	町長	

8	大西 勇	20分	1. 社会福祉政策について	(1) 保護司制度の現状と課題について	<p>①保護司の仕事、活動内容。 ②保護司会と行政のかかわり。 ③全国ではあるべき保護司の定数に対して現状は。 ④志免町の保護司の人数と郡内の状況。 ⑤保護司の担い手不足が全国的課題。その改善策として、 i これまでの人脈頼みではなく「公募制」も併用して間口を広げる。 ii 更に保護司について事前の情報提供やインターシップ等実体験で理解してもらおう。 iii 会社勤めの現役世代や女性など多様な方に担ってもらおう。 ⑥保護司会と連携活動をしている「更生保護女性会」の活動内容。 ⑦今年解散されたと聞いたが長年の活動に対してのご所見。 ⑧今年の5月に保護司が自宅で面接中、対象者に殺害されたがこの点についてのご所見。 ⑨これまで保護司に対して対象者、1対1だったが「複数担当制」対象者1名に対して保護司2名で担当することについて。 ⑩これまで保護司の自宅か対象者の家で面接だったが、「第三の面接場所」として公民館の一室を活用することについて。 ⑪保護観察官の仕事と現状について。 ⑫各保護司の担当人数と再犯率の推移について。 ⑬保護司制度について改善課題が多いと思うが国の指示まちだけでなく自治体からも声を上げるべきではないか。</p>	町長	
9	牛房 良嗣	30分	1. 子育て支援の充実について 2. 日本語の学習機会を	(1) 取組んできた施策と成果について (1) 日本に働きにきている外国人に日本語の学習を	<p>①子育て支援に関する施策と成果について、施策評価に基づく報告を。 ②子どもにはお金がかかる親子に最大の投資を。 5年10年先の将来を見据えた施策を町長に問う。</p> <p>①過去には国際交流町民会議が国際交流パーティーを開催し、コミュニケーションの場があった。 そのような機会が必要であると思うが、町としての見解は。 ②今後外国人が増え、日本語教員の有資格者が必要になってくるのではないか。そのための支援は。</p>	町長	